

46 スタートアップへの総合的支援

【令和7年度予算概算決定額 270（270）百万円】
（令和6年度補正予算額 400百万円）

＜対策のポイント＞

農林水産・食品分野における政策的・社会的課題の解決やサービス事業体等の新たなビジネス創出のため、SBIR制度※のもと、革新的な研究開発とその事業化を目指して取り組むスタートアップ・中小企業等を支援します。あわせて、将来のアグリテックを担う優秀な若手人材を発掘し、研究開発や事業化に関する能力向上をサポートします。

＜事業目標＞

終了課題のうち50%以上において、事業化が有望な研究成果を創出〔令和7年度まで〕

※スタートアップ等による研究開発とその成果の事業化を支援し、それによる我が国のイノベーション創出の促進を目的とした省庁横断的な制度（Small/Startup Business Innovation Research）。

＜事業の内容＞

SBIR制度のもと、これまで推進してきた産学官連携の枠組みと連携しながら、スタートアップ等による研究開発・事業化を目指す取組や、将来のアグリテックを担う優秀な若手人材の発掘・能力向上を支援します。

1. スタートアップ等が行う研究開発・事業化を目指す取組の支援

発想段階から事業化準備までの取組を切れ目なく支援します。さらに、優れたスタートアップを創出するための環境づくりとして、事業化前の取組を促進して速やかな自立に繋げるため、実用化段階（フェーズ2）及び事業化準備フェーズの支援を拡充します。

【フェーズ0、1：上限10百万円/年、フェーズ2：上限20百万円/年、事業化準備フェーズ：上限30百万円/年】

2. スーパーアグリクリエイター発掘支援

将来のアグリテックを担う優秀な若手人材を発掘し、研究起業家としての能力向上を支援します。

3. プログラムマネージャー等による伴走支援等

事業化に関する知見・経験を豊富に有するプログラムマネージャー等による、経営人材・事業会社・ベンチャーキャピタル等とのマッチング、知財・ビジネス化・資金調達等に関するメンタリング、ピッチコンテスト開催などの伴走支援を行います。

＜事業の流れ＞

交付（定額）

国

→

生物系特定産業技術研究支援センター

→

委託

民間団体等
（公設試、大学を含む）

＜事業イメージ＞

フェーズ0
（発想段階）

フェーズ1
（構想段階）

フェーズ2
（実用化段階）

事業化準備
フェーズ

【研究開発・事業化の取組の内容】

技術シーズ
創出

実現可能性調査
や概念実証

事業化に向けた試作品
作成や技術改良、事業
計画策定等の準備

PMF※に向けた実証・技術
改良等

※PMF（プロダクトマーケットフィット）：顧客の課題を満足させる製品を提供し、それが適切な市場に受け入れられている状態。

【支援内容】

スタートアップ、
中小企業、大
学、公設試等

発想段階から事業化準備段階まで切れ目なく
プログラムマネージャーが伴走支援

社会実装・
事業化へ

ピッチコンテストの
開催

セミナーや研修等
の実施

知財・法務・起業・
ビジネス化などの専門
家によるメンタリング

経営人材、VC
や事業会社との
マッチング

+

優秀な若手人材の発掘・能力向上支援

【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課（03-3502-5530）